【検討単語の確定について】2022年度 第3回本委員会 【結果の記入方法】創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

番号	時事用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1	**肺血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）**	食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり（血栓）が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れがある病気。 （厚生労働省HPより） 航空機のエコノミークラスで、長時間狭い椅子に座ったままの状況で起こることがあることから、エコノミークラス症候群とも呼ばれている。 同じ姿勢でのデスクワーク、ゲームを何時間も続けている人、震災などで被災している方の車中泊を選択し、一晩中同じ姿勢で眠りつづけ、トイレにも行かなくて済むようにと水分もなるべくとらずにいることで発症する例が多く報告されている。		北海道	●	座る ＋ 病気	「医療チーム」にて検討	「肺血栓塞栓症」とは、長時間同じ姿勢で座り続けることで起こる病気。 ９班の案を「医療チーム」に提案・検討することに。 ※本委員会⇒「医療チーム」（1月中旬開催予定）⇒２月本委員会にて再検討することに。
				東北		右手で指文字「チ」形を左腕に沿って下ろす		
				関東	◎	両人差指で下を指す＋右人差指で手首から肘に向けて腕をなぞる ＋「詰まる」		
				北信越		左手は親指を立て、右手の指文字「え」で抑える＋病（「がまん」の手話の右手が「え」）		
				東海	○	肺 ＋ 詰まる ＋ 症		
				近畿	◎	腰掛ける ＋ 血管が詰まる様子		
				中国	●	座る ＋ ずっと ＋ 病		
				四国	●	/狭い/ ＋ 両手を合わせて体の前に ＋ /症候群/		
				九州	●	座る（回す） ＋ 詰まる		
2	**回答・解答**	「回答」…質問や要求・要望に答えることや、その答え。 （例:「調査の回答」「アンケートの回答」など） 「解答」…問題を解いて答えを出すことや、その答え。 （例:「試験問題の解答」「クイズの解答」など） （違いが分かる事典より）		北海道	○ ●	**回答** 右手「質問」左手「報告」 **解答** 結果 ＋ 報告	△ ラベル追加	９班の案を見ると、「回答」「解答」それぞれ別表現を検討している班が多いなか、本委員から、どちらも標準手話の＜答える・報告＞だけでの良いのでは？ と意見が分かれた。 採決の結果、標準手話＜答え・報告＞にラベルを追加する意見が採用された。 **⇒＜答える・報告＞と同じ** **※●班の案を採用**
				東北		回答：答える、解答：説明 ＋ 答える		
				関東	保	「**回答**」：少し上に向けて「答え」 「**解答**」：少し下に向けて「答え」		
				北信越		**回答**…質問 ＋ 答え **解答**…問題 ＋ 答え		
				東海	○	答える、 解く ＋ 答える		
				近畿	△	＆＋「答える」（質問に答えるのように、頭に内容を入れる）		
				中国	●	**回答**→考える ＋ 答え **解答**→正しい ＋ 答え		
				四国	●	**回答**は/答え/ **解答**は片手で/考える/ と 片手で/答え/		
				九州	●	**回答** 問題 ＋ 答える（方向）／ **解答** 分かる ＋ 答える		
3	**喜怒哀楽**	人間のもっているさまざまな感情のこと。喜び、怒り、悲しみ、楽しみの四つの感情。 （goo国語辞書より）	＜冠婚葬祭（学Ⅱ－21）＞のような 一発の表現を検討してください。	北海道	●	左手 ４ 右手 下方に下ろしながら人々	＜感情Ｂ＞ ア アレンジ ＜喜怒哀楽＞ ● 組み合わせ ＜四字熟語＞ ● 組み合わせ	９班の案を見ると、左手＜四＞の右手＜感情＞（５指をつまんで<u>ねじりながら</u>上げる動作）とする班が多い。 標準手話の表現を確認すると、 ＜感情＞…５指つまんだ右手指先を頬にあてて<u>上下させる</u> ＜感激＞…同じ手形で<u>ねじりながら</u>あげていく そのため、ねじりながら上げる動作は合わないので、ねじらないで上げる動作を「感情Ｂ」として追加することに。 ＜感情Ｂ＞ **⇒５指をつまんだ右手指先を頬に沿って上げる** ＜喜怒哀楽＞ **⇒左手＜四＞と右手＜感情Ｂ＞を順に表す** **※東海班・中国班・九州班の案を参考** あわせて「四字熟語」の表現を検討。＜熟語（2014－70）＞の動作を参考に。 **⇒左手＜四＞の横で、＜句＞の手形を上下（うえ・した）の順に置く**
				東北		喜び ＋ 怒る ＋ 悲しい ＋ 嬉しい		
				関東	◎	「感情」＋ 掌手前、指先上に向けた左手４指を右手人差指で左から右へなぞる		
				北信越		気持ち ＋ ４本指を立て、反対の手間人差し指で順に指す		
				東海	●	左手で４、右手で感情		
				近畿	ア	感情 ＋ 四つの指を上から下へ指さす		
				中国	●	４ ＋ 感動		
				四国	△	**喜**ぶは/幸せ/ **怒**は/起る/ **哀**は/悲しい/ **楽**は/楽しい ※「楽しい・嬉しい」は同じ手話表現ではなく、今後区別して確定した方が良いと思う		
				九州	◎	４（非利き手） ＋ 気持ち・感情		
4	**黙食**	会話をせずに“黙って食べる”ということ。 新型コロナウイルス感染リスクである「飛沫感染」を防ぎ、安心して飲食ができる環境づくりの一環として推奨された。		北海道	○	左手は口元に「黙る」右手で「食べる」	＜黙る＞ 保 保存手話 ＜黙食＞ ● 組み合わせ	９班の案を見ると、標準手話の ＜シーッ・黙って＞（人差指を口元にあてる） 掌を手前に向け口元で握る 喉元を右手２指でひねる この３つに分かれている。 近畿班の、左手＜黙る＞＋左手残したまま右手＜食べる＞、黙ったまま（口を閉じたまま）食べることはできないので、右手だけで表しては？ということに。 あわせて、標準手話の「黙る」のラベルが無いので確定。 ＜黙る＞ **⇒掌を手前に向け口元で握る** ＜黙食＞ **⇒＜黙る＞＋＜食べる（食事）＞を２回** **※近畿班の案を参考**
				東北		黙る ＋ 食べる		
				関東	●	「声なし」（喉元を親指と人差指でひねる）＋「食べる」		
				北信越		静かに ＋ 食事		
				東海	○	黙る ＋ 食べる		
				近畿	●	黙って ＋ 食べる		
				中国	●	黙って ＋ 食べる		
				四国	●	/黙る/ ＋ /食べる/		
				九州	●	黙る（非利き手） ＋ 食べる（利き手）		
5	**物議をかもす**	「物議」…人々の議論と世間の騒ぎ。 「物議をかもす」…世間の論議を引き起こす。 （例:「大臣の発言が物議をかもす」など） （goo国語辞書より）		北海道	●	混乱 ＋ ５指を折り曲げた両手を交互に上下する（起こる）	● 組み合わせ	９班の案を見ると、「混乱」を使う班がある。発言したことによって引き起こるといた意味があるので、関東班の案が良いのでは？ということで意見がまとまった。 「あちこちで」というイメージで表すことに。 **⇒＜発言＞（口元で５指をパッパッと開く）＋＜混乱＞を左から右に動かす** **※関東班の案を参考**
				東北		交互に、右手で左を指差し左手で右を指差す		
				関東	◎	「言う」（５指で）＋「混乱」		
				北信越		問題 ＋ きっかけ		
				東海	○	騒ぐ ＋ 起こる		
				近畿	◎	両手の互いのひらを向かい合わせて、騒ぎ出す様子		
				中国	●	言う ＋ 揉める		
				四国	保	両掌指をやや曲げて上下に置き、/もめる/ような表現で左から右へ円を描くように回す		
				九州	●	トラブル ＋ 様子		
6	**業種**	事業や営業の種類のことで、その企業が携わっている分野のことを指します。さらに言うと総務省統計局が定めている日本標準産業分類の「産業」に準拠し、証券コード協議会が分類したものが一般的。	業界…2010p42	北海道	●	仕事 ＋ 左掌に右掌の小指側を付け手前から広げる（全種類）	**保留**	まずは、「職種」と「業種」の違いを確認。 「職種」…事務、営業、販売など、個人の仕事の種類。 「業種」…製造業、情報通信業、金融業、医療・福祉業など、企業が営む事業の種類。 ９班の案を見ると、ほとんどが「職業」＋「種類」（表現が微妙に異なる）だが、標準手話＜職種（わ6－50）＞の表現になる。 意味が異なるので別表現が必要だが、良い案が浮かばず、今回は保留とすることに。 **⇒保留**
				東北		仕事 ＋ 種類		
				関東	●	「仕事」＋「種類」		
				北信越		仕事 ＋ 種類		
				東海	○	事業 ＋ 種類		
				近畿	●	仕事 ＋ 種類		
				中国	●	仕事 ＋ 種類		
				四国	●	/仕事/ ＋ /種類（Ⅰ-42）		
				九州	●	仕事 ＋ 種類		
7	**システムエンジニア**	ソフトウェア開発の現場で、開発プロジェクトや開発チームの管理、またプログラムの仕様書（システムの設計書）やソフトウェアの設計書を作成すること。主にクライアントからの要求に応じて、パソコンを使い作成します。 SEの仕事には大きく分けて「要件定義」「基本設計」「詳細設計」「テスト」「保守・運用」という5つの段階がある。 （RE就活HPより）		北海道	●	システム ＋ 研究 ＋ 人	● 組み合わせ	９班の案を見ると、標準手話の＜システム＞、指文字、アルファベット「ＳＥ」などに分かれている。 「エンジニア」はIT関連の技術者のことなので、標準手話の＜技術＞を使う。 また、人のことを表す場合は、＜～人・～者＞を使うことに。 **⇒＜システム・仕組み＞＋＜技術＞＋＜～人・～者＞** **※四国班の案を採用（関東班・近畿班を参考）**
				東北		両手の指文字「シ」の形を下に向けながら下ろす ＋ 計画		
				関東	●	「システム」＋「技術」		
				北信越		「し」→「す」↓＋「1」		
				東海	○	Ｓ ＋ Ｅ（日本式アルファベット表記）		
				近畿	●	システム ＋ 技術 ＋ 者		
				中国	●	ＳＥ アメリカ指文字		
				四国	●	/システム/ ＋ /技術/ ＋ /者/		
				九州	●	ASL ＳＥ（両手で表現）		

8	**インフルエンサー**	影響や勢力、効果といった意味を持つ「influence」という英語が語源で、世間や人の思考・行動に大きな影響を与える人物のことを指す。スポーツ選手やテレビタレント、ファッションモデル、特定の分野の専門家、インターネット上で大きな影響力を持つ一般人やブロガーなどがインフルエンサーの一例。（Visumoより）		北海道	ア	左手親指から右手で「広まる」	○ 合成	９班の案を見ると、ほとんどの班が「影響」を使っている。関東班の案が分かりやすい。 人を表す左手人差指の向きが、掌が前に向いていると、数詞「１」と間違う。人差指を立てた左手を、わざわざ置くのではなく自然でいい。手のひらは手前に向けることに。 **⇒掌を手前に向けて立てた人差指からの下から、＜影響する＞（５指を右手甲につけ開きながら前に出す）** ※左手人差指が「人」を意味するので＜～人・～者＞は使わない。 **※関東班の案を採用**
				東北		指文字「ヒ」形の左手の下に右手で水平円を描く		
				関東	◎	立てた左人差指（人）の前に５指をつまんだ右手甲を付け開きながら前に出す（影響）		
				北信越		影響 ＋「1」		
				東海	○	影響 ＋ 人		
				近畿	●	インターネット ＋ はやる		
				中国	●	アップ ＋ 影響		
				四国	●	/影響/　の人差し指を　もう一方の人差し指で指す		
				九州	●	ネット ＋ 有名		
9	**ユーチューバー**	厳密な定義は無いが、一般的にはYouTube（Googleが提供している動画の投稿・閲覧サービス）への動画投稿により得られた収入で、生活している人物をさす。 YouTuberは、オリジナルの動画を矢継ぎ早に公開して多くの視聴者を獲得し、それによって収入を得ている。動画作成を仕事にしていると言っても良いですが、動画を多くの方に見てもらわないと収入は得られない。		北海道	●	ユーチューブ ＋ 人	● 組み合わせ	９班の案を見ると、 ＜ユーチューブ＞＋＜仕事＞ ＜Ｙ＞＋自撮りの動作　など色々ある。 また、「人」の表現も親指、人差指、人間などいろいろ。 それで生計を立てている人のことなので、今ある標準手話の組み合わせでいいのではないか。 **⇒＜ユーチューブ＞＋左手を残したまま、右手で＜～人・～者＞** **※四国班の案を採用**
				東北		「Ｙ」形の左手＋右手で「テレビ」＋「人」		
				関東	●	「YouTube」＋「仕事」		
				北信越		「Ｙ」＋ カメラで自分を撮影		
				東海	○	左手でＹ、右手で上下に動かし、人		
				近畿	●	ＹｏｕＴｕｂｅ ＋ 人		
				中国	●	ユーチュー ＋ 男		
				四国	●	/YouTube/　＋　/者/		
				九州	●	プロ ＋ YouTube		
10	**気象予報士**	観測データや予測データを適切に用いて、気象や波浪を予想できる専門家として予報業務を担当することが認められる国家資格。1993年（平成5）5月の気象業務法改正により設置された。 （コトバンクより）	＜気象＞＋＜予報＞＋＜士＞でよい？	北海道	●	天気 ＋ 希望(予想) ＋ 士	● 組み合わせ	９班の案を見ると、若干の違いはあるがほとんどにたような表現。標準手話があるので組み合わせで対応することに。 **⇒＜気象＞＋＜予報＞（予定＋広く伝える）＋＜～士・～師＞** **※四国班の案を採用**
				東北		天気 ＋ 予 ＋ 士		
				関東	●	「気象」＋「報告」＋「士」		
				北信越		空 ＋ 予想 ＋ 士		
				東海	○	気象 ＋ 予想 ＋ 士		
				近畿	●	気象 ＋ 予報 ＋ 士		
				中国	●	天気 ＋ 想像 ＋ 士		
				四国	●	/気象（Ⅱ-414）/　＋　/予報（Ⅰ-553）　＋　/　士/		
				九州	●	天気 ＋ 予想 ＋ 士		
11	**コールセンター**	電話を通してお客さまとやり取りをする業務です。商品やサービスへの問い合わせに対応したり、または売り込んだりする。 コールセンターはお仕事の特性から、2種類ある。 「インバウンド」…お客さまからかかってきた電話（問合せ・申し込み・予約・電話取り次ぎなど）に応対する。 「アウトバウンド」… お客さまに積極的に電話をかける能動的な業務。自社商品やサービスを売り込むためにお客さまに電話をかける、いわゆる営業電話。		北海道	ア	オペレーター ＋ 右手「せ」で建物の形	＜コールセンターＡ＞ ● 組み合わせ ＜コールセンターＢ＞ ● 組み合わせ	「コールセンター」とは、電話でお客様とのやり取りをしたり、売り込みの電話をする業務。 ９班の案を見ると、「オペレータ」「電話をかける」「電話がかかってくる」など分かれている。 ＜電話＞＋＜センター＞だけだと「ＮＴＴ」と間違う。また、かかってくるだけではないので＜電話をかける＞＜電話がかかってくる＞の両方の動作が必要。 ＜センター＞の表現は「Ａ・Ｂ」あるので、それぞれ採用することに。 ＜コールセンターＡ＞ **⇒両手で＜電話をかける＞＜電話がかかってくる＞を２往復する＋＜センターＡ＞** **※四国班の案を採用** ＜コールセンターＢ＞ **⇒両手で＜電話をかける＞＜電話がかかってくる＞を２往復する＋＜センターＢ＞** **※東北班の案を採用**
				東北		両手「電話」を交互 ＋ センター（指文字「セ」）		
				関東	●	**A**：「オペレーター」＋「センター」 **B**：「オペレーター」＋「建物」		
				北信越		オペレーター ＋ センター		
				東海	○	電話がかかってくる ＋ センター		
				近畿	ア	電話 ＋ センター		
				中国	●	Ｃ指文字 ＋ センター		
				四国	●	両手で交互に電話を受ける様子　＋　/センター/		
				九州	●	電話（非利き手）＋ センター↴		
12	**延焼**	火事が火元から他に燃え広がること。 （例:「延焼を免れる」「風にあおられて山火事が延焼する」など）		北海道	○	左手「火」＋ 右手「増える」	● 組み合わせ	標準手話の＜火事＞（「家」と「燃える」の合成）は「家が燃える」に見えるが、ラベルとしては＜火事＞なので、山でも家でも使える。 一般的には、一軒家で起きた火事が隣家に燃え移る場合が圧倒的に多いことから、９班の案にも多く見られるように、＜火事＞の右手＜燃える＞を右に移動しながら繰り返し表す案が良い、と意見が分かれた。 採決の結果、＜火事＞＋＜広がる＞を採用することに。 隣家への延焼の場合は、前者の表現の方が合う。また、延焼面積がかなり広がる場合は、＜拡大＞を使うこともある。似た言葉に「類焼（もらい火）」があるが、検討見送りに。 **⇒＜火事＞＋＜広がる・普及＞** **※九州班の案を採用**
				東北		家 ＋ 右手「火」右側に移動しながら２回繰り返し		
				関東	◎	「火事」を表現し、右手を横に移動させる		
				北信越		家事 ＋（少し横にずらして）燃える ＋（ずらして）燃える		
				東海	○	左手で燃える、右手を右側に小刻みに揺らす		
				近畿	◎	片手で２回火が燃え出す様子		
				中国	●	火事 ＋ 流れ		
				四国	ア	/火事/　＋　右手の炎を横に広がって行く様子をする		
				九州	●	燃える ＋ 広がる		
13	**有事**	戦争や事変など、非常の事態が起こること。（goo国語辞書） 国家や企業の危機管理において戦争や事変、武力衝突、大規模な自然災害などの非常事態を指す概念。対義語は平時あるいは日常時。（ウィキペディア）		北海道	ア	平和の後に起こるを続ける	● 組み合わせ	「有事」とは、戦争や事変などの非常事態が起こること。 ９班の案を見ると、＜混乱＞や＜とても＞や非常事態（＜非＞＋＜状態＞）などが見られる。 非常事態とは少し意味が異なる。武力に訴えるような事変の意味合いが強い。 関東班の案が、戦争や自然災害などの非常事態が起き混乱した状態のどちらにも合う表現なのでは？ 対義語「平時」＝「平和」ではない。戦争などで混乱した状態が「平時」となりうることもあるため、今回の検討は見送ることに。 **⇒＜混乱＞（右手を上にして）＋５指を曲げた右手をひっくり返して少し上げる** **※関東班の案を採用**
				東北		「平和」両手 ＋ 右手で「起こる」		
				関東	◎	「混乱」を表現し、右手をそのまま素早くひっくり返す		
				北信越		国 ＋トラブル ＋ 起きる（５本指）		
				東海	○	非常 ＋ 事態		
				近畿	○	とても ＋ 突然		
				中国	●	非 ＋ 起こる		
				四国	●	片手/事/　の前方に　/ある/を強く出す		
				九州	●	危機 ＋ 起きる		
14	**流出**	**① 流れて外へ出ること。** （例:「事故で廃液が流出する」など） ② 内部のものが、外部に出て行ってしまうこと。 （例:「人口の流出が著しい山村」「優秀な頭脳が海外へ流出する」など）	10月本員会にて「人口流出」を検討しました。 今回は、情報、汚染物質等々についての検討を。	北海道	●	広がる ＋ ５指を折り曲げた両手を上下する（起こる）	○ 合成	今回検討する「流出」とは、情報や汚染物質などの流出。 両方に合う表現を検討するか？ ９班の案を見ると、＜場所＞を使う班があり、それで良いのではないか。ろう者も工場からなのか、船からなのか、広がる場合、状況に合わせて表現することをわきまえているので、「タンカーから重油が流出した」の場合の左手は＜船＞を使うから、今回は＜場所＞でいい。 **⇒左手で＜場所＞、右手で流れ出るしぐさの合成。（握った右手を開きながら前に出す）** **※左手は状況合わせて表現する** **※東北班・関東班・東海班の案を採用**
				東北		左手で「場所」＋ 右手で「流れる」（右側に移動）		
				関東	◎	左手「場所」から握った右手を開きながら前に出す。		
				北信越		流れる		
				東海	○	場所 ＋ 流れる		
				近畿	ア	①手の甲の上に片方の手で流れる様子。②手の甲の下に～		
				中国	●	物 ＋ 流れ		
				四国	△	両手で　/流れ出す/　様子　上体によってアレンジする		
				九州	●	①問題 ＋ 広がる　②１（人:非利き手）＋ カミングアウト		

15	**がたが来る**	①年月を経て、機械や道具などの調子が悪くなること。 （例:「十五年使った洗濯機は、ついにがたが来た」「このレンジは買って三年しかたたないのに、もうがたが来た」など） ②年をとって健康が損なわれたり、体が思うように動かなくなったりすること。 （例:「私ももう七十歳。がたが来てもおかしくない年ごろだ」など）　（あすとろ出版「慣用句の辞典」より）	身体・機械等々で使う	北海道	ア	折るを細かく２～３回　　保　右顎を右掌で叩く	ア アレンジ	機械の場合、人の場合、どちらにも合う表現とするか、それぞれの状況に合わせる表現を検討するか？ ９班の案を見ると、＜古い＞がついていたり、機械・人それぞれの表現を検討している。 関東班の案がよいのでは？との意見もあったが、北海道（３回）、東海班（２回）の案がどちらにも使えて分かりやすい。 （参考：「ポンコツ」…＜古い＞＋＜折る・故障＞） **⇒＜折る・故障＞を左側・真ん中・右側の順に３回表す** **※北海道班の案を採用**
				東北		古い ＋「壊れる」を繰り返す		
				関東	◎	「故障・折る」を途中で止めて右手を小刻みに震わす		
				北信越		古い ＋ 壊れる ＋ 壊れる ＋ 壊れる		
				東海	保	「折る」を小さく繰り返す		
				近畿	保	ぼろぼろ ＋ ななめにおろす		
				中国	△	崩れる		
				四国	保	片手を頭の側面に当て、なかなか動かないような様子		
				九州	◎	①機械　停止　②身体　すぼめながら合わせる		
16	**罪悪感**	罪をおかした、悪いことをしたと思う気持ち。 類語には「自責の念」「良心の呵責」「悔恨の念」「後ろめたさ」などがある。　（デジタル大辞泉』） 一方、例えば、糖質制限などのダイエット中に、罪悪感を感じながら「またケーキを食べてしまった…」「こんな時間にためて大丈夫…？」といったことがありますが、食べ物に罪があるわけではないですが、手話表現はどうか？検討してください	一般より、ダイエット中の「罪悪感」の手話教えて！との問い合わせあり。	北海道	△	後悔にラベル追加	△ ラベルの追加	９班の案を見ると、＜罪＞＜悪い＞＜気持ち＞などを使う班があるが、＜後悔＞だけでよいのではないか。 **⇒＜後悔＞と同じ** **※北海道班・東北班の案を採用**
				東北		首を傾げ、掌を当てる		
				関東	●	「悪い」＋「感じる」		
				北信越		罪 ＋ 感じる		
				東海	●	失敗 ＋ 後悔		
				近畿	保	自分に対して×をつける		
				中国	●	あと ＋ 思い出す ＋ 後悔		
				四国	ア	/罪/　＋　胸に手を当てる		
				九州	●	悪い（申し訳ない表情で） ＋ 気持ち		
17	**ギルトフリー食品**	guilt（罪悪感）がfree（無い）、つまり罪悪感を感じないという意味。主に、スイーツに対して使われていて、罪悪感を感じずに食べられるスイーツという意味で使われる。	一般より	北海道	●	悪い ＋ フリー ＋ 食べる	**保留**	「罪悪感」を検討したので、それを使うとしたら ＜罪悪感＞＋＜無い＞＋＜食品＞になるが…。 一般の人から「この手話を創って！」というメールが入り検討単語に入れたが、意見がまとまらず、今回は保留とすることに。
				東北		右手で「食べる（指先つまむ）」＋ 両手で「ＯＫ」		
				関東	●	指文字「ギルトフリー」＋「食品」		
				北信越		３本指で「平気」の手話の動き ＋ 食べ物 話合いの中で、最初は「罪」の手話の反対の動きを考えたのですが、いっそ「平気」の動きにしたら良いのではとの意見でまとまりました		
				東海	●	失敗 ＋ 後悔 ＋ ない　食品		
				近畿	保	問題なし		
				中国	●	罪悪感なし ＋ 食		
				四国	ア	/罪/＋胸に手を当てる＋/関係ない/＋/食事/		
				九州	×	お任せします		
18	**シェイク**	カクテルやフレンチドレッシングなどを作るために、びん、シェーカーなどの容器にはいった液体を、容器を激しく振ることによってまぜること。また、そのようにして作った飲み物。 （精選版 日本国語大辞典より）	一般より 参考：＜ジューサー（2006－65）＞ ＜ミキサー（2006－65）＞ ＜カクテル（続①－102）＞	北海道	◎	左手「コップ」右手小指で混ぜる	保 保存手話	９班の案を見ると、「カップの蓋をしめて振る」の案があるが、動詞になる。 標準手話＜カクテル＞があるのでラベルを追加するか、容器をもって斜め上下に振る動作で採決をすることに。 **⇒右手を軽く丸めて（容器を持つ）斜め上下に振る** **※東北班の案を採用**
				東北		右手で「コップ」を上下に振る		
				関東	◎	カップにひねって蓋をして頭の脇で振る仕草		
				北信越		瓶を振る仕草		
				東海	○	筒を上下に動かす		
				近畿	◎	カクテルのように瓶を両手で振る		
				中国	△	棒の形 ＋ 振る		
				四国	ア	片手で持ってシェイクする様子		
				九州	◎	振るしぐさ		
19	**胎動**	妊婦のお腹の中にいる赤ちゃん(胎児)の動きのこと。妊娠7週ごろの早い時期から動きはじめる。 仰向けや座ってリラックスしている体勢のときに、回転・蹴るなどの動きを感じやすいといわれている。		北海道	ア	妊娠の右手で動く	● 組み合わせ	９班の案を見ると、赤ちゃんが動く位置が微妙に異なる。動き方は色々あるので、＜活動＞を顎のあたりで小さく動かす表現とすることにし、状況に合わせてお腹の位置で蹴るように動かしたりすればよい。 **⇒＜妊娠Ｂ＞（お腹が大きい）＋＜活動・運動Ｂ＞をあごの脇あたりで小さく上下に動かす** **※東北班・四国班の案を採用**
				東北		妊娠 ＋ 動く		
				関東	●	「妊娠」＋「中」＋「動く」		
				北信越		左手で大きなお腹を表し、右手で「動く」		
				東海	○	妊娠 ＋ 両手を前方に突き出す		
				近畿	◎	おなか ＋ 動く		
				中国	保	妊娠 ＋ 中 ＋ 動く		
				四国	●	おなかが大きい様子　＋　赤ちゃんが動くさま		
				九州	◎	妊娠 ＋ 両手グーにして動かす		
20	**おまる**	幼児が使用する小型のポータブルトイレ。おむつが取れた後、一般のトイレで用が足せるようになる5歳ごろまでの間に用いられる中継的存在で、トイレットトレーニングなどの家庭教育（躾）にも利用される。 （ウィキペディア小見出し辞書より）		北海道	ア	両手で摑まりながら右手で小便	● 組み合わせ	９班の案を見ると、持ち手をつかむ動作や「ＷＣ」「おしっこ」を使う動作がある。 「おまる」とは、幼児用の小型ポータブルトイレのことで、大半が持ち手を握るタイプだが、付いていないものもある。また、おまるを使うのは、赤ちゃんというより、おむつが取れる頃～５歳くらいまでの幼児。 ある手話の組み合わせとすることに。 **⇒＜子どもＡ＞（手の振りは小さく）＋＜トイレ＞（ＷＣ）** **※北信越班の案を採用**
				東北		トイレ ＋「おまる」の持ち手を掴むしぐさ		
				関東	●	「ＷＣ」＋ 体の前で両手を揃えて握り、少し腰を落とす		
				北信越		赤ちゃん ＋ ＷＣ		
				東海	○	ＷＣ ＋ 丸い便器		
				近畿	◎	こども ＋ 両手でハンドルを持つ様子		
				中国	保	トイレ ＋ おまるの形		
				四国	ア	/赤ちゃん（こども）/　＋　/トイレ/のアレンジで円を描き前方で持ち手を握る様子		
				九州	◎	ハンドルを握る様子		
21	**咀嚼（そしゃく）**	① 口の中で食べ物をよくかみ砕き、味わうこと。 （例:「「咀嚼して消化をよくする」など） 離乳食が進み固形物が食べられるようになると、「モグモグ」など噛むことを促すことが大切。 （離乳食期…「モグモグ期」） ② 言葉や文章などの意味・内容をよく考えて理解すること。 （例・「名言を咀嚼して味わう」など）		北海道	ア	１．既にある咀嚼を口元で表現 ２．口元で指先を噛合わせる様に表現	△ ラベルの追加	９班の案を見ると、上下に向き合わせた両手拳を回す動作が多い。標準手話の＜消化＞の動作に近い。 咀嚼は、離乳食期の幼児だけでなく、高齢者に対しても誤嚥を防ぐために咀嚼を促す。また、＜消化＞は胃の中でのイメージになる、との意見のあった。 両手拳を上下につけたり離したりする（もぐもぐ）か、＜消化＞とするかに意見が分かれ採決することに。 **⇒口元で＜消化＞の右手だけを回す** **※北海道①・関東班①・北信越班・東海班・近畿班・九州班の案を採用**
				東北		右手人差しの指先を口から喉の部分に沿って下ろしていき、両手げんこつを歯に見立て噛む様子		
				関東	◎	①「消化・咀嚼」　②「納得」をゆっくり		
				北信越	保	（北信越ではよく使われている手話です）		
				東海	○	握り合わせた両手の拳をすり合わせる		
				近畿	◎	両手のこぶしを重ねて、噛み下す様子		
				中国	●	①食べてかみ砕く　　②考えて ＋ 納得		
				四国	ア	両手で歯を表現し噛む様子		
				九州	◎	両手グーにし、こすり合わせる		

22	**ハイハイ**	立って歩くことができない赤ん坊が、四つん這いになって左右の手足を交互に動かしながら移動すること。		北海道	◎	掌を交互に前進させる(ハイハイする動作)	保 保存手話	「ハイハイ」とは、歩き始める前の赤ちゃんが、四つん這いになって左右の手足を交互に動かしながら移動すること。 ９班の案を見ると、肘を使ったり、指先を左右に向けている班があるが、「いざる」とか「ずりばい」の動作になる。膝を付けて四つん這いになる時は、指を広げて指先を前に向け、体重を支えて移動する。 また、＜赤ちゃん＞の手話を入れる意見もあったが、高齢になり足腰が弱くなった場合には「ハイハイ」とは言わないので、＜赤ちゃん＞の手話は付けなくてもよいということに。 **⇒指先を前に、掌を下向きに５指を広げた両手を交互に前に出す（ハイハイの様子）** **※北海道班・北信越班・九州班の案を参考**
				東北		「ハイハイ」のしぐさ		
				関東	◎	「赤ちゃん」＋ 掌下向きで５指広げた両手を交互に前に出す（ハイハイの様子）		
				北信越		ハイハイの身振り		
				東海	○	赤ちゃん、這う		
				近畿	◎	両手の手のひらで歩く様子		
				中国	保	あかちゃん ＋ はいはいの姿		
				四国	ア	/赤ちゃん/ ＋ ハイハイしている様子		
				九州	◎	這う様子		
23	**お座り**	生後6か月～9ヶ月頃の赤ちゃんの運動発達の1つ。お座りの姿勢をしてあげた時に、両手を前について身体を支える状態から筋力やバランス感覚が発し、徐々に支えなしで自分で座れるようになっていきます。 （たまひよHPより）		北海道	△	座るにラベル追加	保 保存手話	９班の案を見ると、＜座る＞の班があるが、ちょっと合わない。赤ちゃんがお座りした時の足の形の案がよい。 ＜港＞と区別するため、手首を少し内側に入れる。 **⇒＜子供Ａ＞＋両手人差指を曲げた両手の手首を少し内側に入れて置く（赤ちゃんが座った時の足の形）** **※北信越班・近畿班の案を採用**
				東北		両手を同時に下へ下ろす ＋ 左手掌に親指を立てた右手をのせる		
				関東	◎	「赤ちゃん」＋ 握った右手を立て左手を添えて垂直に下げる。		
				北信越		赤ちゃん ＋ 赤ちゃんが座った時の足の形		
				東海	○	赤ちゃん、座る		
				近畿	◎	両手の人差し指を曲げて足を表す様子		
				中国	●	あかちゃん ＋ 座る姿		
				四国	●	/赤ちゃん/ ＋ / 立つ /		
				九州	◎	持ち上げて下す ＋ 両手の人差し指を曲げる		
24	**立っち**	「立つ」ことをいう幼児語。足首、ひざ、股、脊椎と、たくさんの関節と動く部分から成り立っていて、それらが脳の働きで微妙に調節され、結果として重さを足の裏で支えられるようになると、初めて、立っちができるようになる。		北海道	ア	立つをゆっくり表現	● 組み合わせ	９班の案を見ると、＜赤ちゃん＞＋＜立つ＞が多い。 あとは状況に合わせた動作にすればかまわない。 **⇒＜子供Ａ＞（手の振りを小さめに）＋＜立場・立つ・立位・起立Ｂ＞** **※関東班・北信越班・四国班の案を採用**
				東北		左手掌に親指を立てた右手をのせる ＋ 立つ		
				関東	◎	「赤ちゃん」＋ ゆっくり「立つ」		
				北信越		赤ちゃん ＋ 立つ		
				東海	○	赤ちゃん、立つ		
				近畿	◎	お座りから立ち上がる様子		
				中国	△	たつ		
				四国	●	/赤ちゃん/ ＋ /座る/		
				九州	●	初めて ＋ 寝かせてから立つ		
25	**つかまり立ち**	赤ちゃんの手が届くところにあるものにつかまって、立ち上がることをいう。 赤ちゃんの手や足に力がついてきて、立つことに興味を持つとつかまり立ちをし始めます。赤ちゃんはつかまり立ちをすることによって、視野がさらに広がることになります。 （松井 潔医師監修：ベビーカレンダーより）		北海道	ア	両手で掴まりながら立つ	● 組み合わせ	９班の案を見ると、つかまる動作＋＜立つ＞が多い。 高齢者の場合でも使えるように、＜赤ちゃん＞は付けないことに。 **⇒両手でバー（手すりなど）をつかむ＋＜立場・立つ・立位・起立Ｂ＞** **※東北班・東海班・四国班の案を採用**
				東北		両手でつかまるしぐさ ＋ 立つ		
				関東	◎	「赤ちゃん」＋ 顔の前に両手を揃えて握り、胸の前までゆっくり下げる		
				北信越		両手で壁を抑え、片手はパーのまま、もう片手は「立つ」		
				東海	○	つかまる仕草 ＋ 立つ		
				近畿	◎	つかんで立とうとする様子		
				中国	●	つかまち ＋ たつ		
				四国	●	/つかまる/ ＋ /立つ/		
				九州	◎	握ったものを下げる		
26	**夜泣き**	生後半年～1歳半ぐらいの赤ちゃんに見られる状態で、夜中に、おむつを替える、おっぱいをあげる、温度調整などのお世話をしても泣き止まず、病気でもなさそうなのに理由が分からない場合を指していいます。 （ムーニーHPより）		北海道	●	夜 ＋ 泣く	● 組み合わせ	赤ちゃんは、時間に関係なく泣く。昼間は、周りの音にまぎれてさほど気にならないが、夜、回りが静かになると、泣き声が大きく聞こえるので、お母さんが大変。赤ちゃんを抱いて家の周りを歩きながらあやすこともある。 ９班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。「真夜中」を使う班があるが、＜夜＞でかまわない。 標準手話の＜泣く＞は片手の表現。赤ちゃんなので両手で。 **⇒＜夜＞＋両手で＜泣く＞** **※北海道班・東北班・北信越班・東海班・中国班・四国班・九州班の案を採用**
				東北		夜 ＋ 泣く		
				関東	●	「赤ちゃん」＋「夜」＋「泣く」		
				北信越		夜 ＋ 泣く		
				東海	○	夜 ＋ 泣く		
				近畿	●	真夜中 ＋ 泣く		
				中国	保	夜 ＋ 泣き		
				四国	●	/夜/ ＋ /泣く/		
				九州	●	夜 ＋ 泣く		
27	**エンゼルプラン**	厚生省（現厚生労働省）が平成7年（1995）に策定した「子育て支援のための総合計画」の通称。 少子化傾向を食い止めるため、共働き家庭の育児を援護するなどさまざまな施策が盛り込まれている。 （コトバンクより）		北海道	●	子供 ＋ 育てる ＋ 計画	● 組み合わせ	９班の案を見ると、１動作目が「天使」の表現にしている班があるが、施策名なので、意味に合う表現の方が良いということで、今ある標準手話を組み合わせることに。 **⇒＜育児＞（子どもＡ＋育てる）＋＜設計・プラン＞（２回）** **※北海道班・北信越班・九州班の案を参考**
				東北		赤ちゃん ＋ 計画		
				関東	●	両手２指で頭上に輪を作る（天使の輪） ＋ 両手で「子ども」＋「プラン」		
				北信越		子育て ＋ プラン		
				東海	○	天使 ＋ 計画		
				近畿	ア	両手を羽根のように交差する ＋ プラン		
				中国	●	赤ちゃん ＋ プラン		
				四国	●	/天使の羽/ ＋ /プラン/		
				九州	●	子育て ＋ 計画		
28	**よこ抱き**	寝ている赤ちゃんの頭の下に腕を入れて赤ちゃんの首や頭周辺を支え、もう片方の手で赤ちゃんの下半身を抱える方法。 （助産師監修：HUGKUM はぐくむ HPより）		北海道	◎	よこ抱きする様子	△ ラベルの追加	９班の案を見ると、手の支え方の違いはあるが、ほとんどが同じ表現。 **⇒＜赤ちゃん＞と同じ** **※北海道班・東北班・北信越班・近畿班・中国班・九州班の案を採用**
				東北		横で「赤ちゃん」＋ 抱っこ		
				関東	◎	「赤ちゃん」＋ 両手を水平に置き左手で頭、右手でお尻を支える仕草		
				北信越		横に抱くしぐさ		
				東海	○	抱っこする仕草		
				近畿	◎	赤ちゃんを横に抱く様子		
				中国	△	横抱き		
				四国	ア	両腕を重ねて赤ちゃんを横に抱く様子		
				九州	◎	写真と同じ		
29	**たて抱き**	赤ちゃんの顔をママの胸元に抱き寄せて、赤ちゃんが立った状態になるようにして抱っこする方法。 （助産師監修：HUGKUM はぐくむ HPより）		北海道	◎	たて抱きする様子	保 保存手話	９班の案を見ると、手の支え方の違いはあるが、ほとんどが同じ表現。 **⇒赤ちゃんの頭を支えて縦にだっこする表現** **※北海道班・東北班・北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用**
				東北		縦で「赤ちゃん」＋ 抱っこ		
				関東	◎	「赤ちゃん」＋ 両手を掌を手前に向け上下に置き、左手で頭、右手でお尻を支える仕草		
				北信越		建てに抱くしぐさ		
				東海	○	縦に抱っこする仕草		
				近畿	◎	赤ちゃんを縦に抱く様子		
				中国	△	たて抱き		
				四国	ア	縦に抱く様子		
				九州	◎	写真と同じ		

30	**誤飲**	「誤飲」…本来飲み込まない物（たばこ、コイン、電池など）を飲んでしまうこと。 「誤嚥」…食べ物が気道に入ってしまうこと。 （亀田メディカルセンターHPより） ※「誤飲」…特に1歳から3歳の幼児は何でも口にくわえて物を確認するため、子供が変な物を口にしないように守ってあげる環境を整えることが大切。		北海道	●	分からない ＋ 物を拾って口にする	＜誤飲＞ 保 保存手話 ＜誤嚥＞ ア アレンジ	「誤飲」とは、赤ちゃんの確認行動のことで、コインや小さいおもちゃなど、誤って飲み込むことがある。 ９班の案を見ると、目元で２指を返す動作＋＜嚥下＞（５指をつめむ）、または＜物＞の手形で飲み込む動作など。 （参考：標準手話の＜間違い＞…２指をつまんだ両手を目の前で交差させる） ＜誤飲＞ **⇒＜あやまち＞（目元で２指を返す）＋＜嚥下＞（５指をつまんで）** **※関東班の案を採用** あわせて「誤嚥」も検討。「誤嚥」は飲み込んだ食べ物が肺などに入ることなので、＜嚥下＞の動作の途中で肺の方へ動かすことに。また、「誤飲」（錠剤やカプセルをシートごと飲み込むなど）「誤嚥」とも高齢者などでも起こることなので、＜赤ちゃん＞は付けないことに。 ＜誤嚥＞ **⇒＜嚥下＞の表現を口から胃に行かずに胸の上部あたりで左にずらす**
				東北		間違い ＋ 飲む		
				関東	●	「間違い」＋「嚥下・飲込む」		
				北信越		間違え ＋ 飲み込む		
				東海	○	間違える ＋ 飲む		
				近畿	●	間違う ＋ 飲む		
				中国	保	間違って ＋ 食べる		
				四国	●	誤飲は　/間違う/　＋　/飲み込む/ 誤嚥は　同上に表現し　飲み込むの指先を斜めにする		
				九州	●	飲む ＋ 間違い		
31	**おねしょ（夜尿症）**	乳児は排尿リズムが未熟ですから、おむつをしていて毎晩おねしょをしている状態です。 「5歳以上で1か月に1回以上の頻度で夜間睡眠中の尿失禁を認めるものが3か月以上つづくもの」と定義されている。 小学校に入っても夜尿症が治らない場合は、睡眠中に膀胱がいっぱいになっても、尿意で目をさますことができないという覚醒障害を起こしている場合もあるため、小児科あるいは泌尿器科を受診することを勧める。 （日本泌尿器科学会HPより）		北海道	●	夜 ＋ 小便 ＋ 範囲	○ 合成	９班の案を見ると、左手＜寝る＞と右手＜おしっこ＞の表現がいい。その表現を採用することに。 **⇒左手＜寝る＞と右手＜小便・おしっこ・尿＞の合成** **※東北班・東海班の案を採用**
				東北		寝る ＋ おしっこ		
				関東	●	「寝る」＋「尿」		
				北信越		夜 ＋ おしっこ ＋ 病		
				東海	○	寝る ＋ 尿		
				近畿	◎	寝る ＋ 漏らす様子		
				中国	●	夜 ＋ 寝る ＋ おねしょ		
				四国	●	片手で/眠る/　＋　もう一方の手で/排尿/		
				九州	◎	漏らす		
32	**功労賞**	「功労」…大きな功績と、そのための努力。 （例:「長年の功労に報いる」「会社再建の功労者」など） 「功労者」…功労のあった者。 「功労賞」…骨折りや労苦を伴う功績を称えるために贈る賞。功労者をねぎらう意味で贈る賞。		北海道	●	苦労 ＋ 賞	● 組み合わせ	９班の案を見ると、「証」を<u>前に出す</u>班があるが、名詞なので右手を乗せるだけでよい。 ＜証明＞（小さい動作）、＜証拠＞（大きく）のごちらにするか検討。今回は小さい動作を採用することに。 **⇒＜苦労Ａ・手間・面倒・大変＞＋＜証明＞（小さく）** **※北海道班・九州班の案を採用**
				東北		苦労 ＋ 賞（前に出す）		
				関東	●	「苦労」＋ 左手掌に５指を折り曲げた右手をのせる（賞）		
				北信越		ご苦労様 ＋ 賞		
				東海	○	お疲れ ＋ 賞		
				近畿	●	大変 ＋ 賞		
				中国	●	お疲れ ＋ 賞		
				四国	●	/苦労/　＋　/尊敬/　＋　/賞/		
				九州	●	お疲れ様 ＋ 賞		
33	**ドライブスルー**	ファストフードなどで提供されているサービスの1つ。ファストフードで車を駐車場に止めず、車のまま車専用のオーダー窓口で食べ物を注文し、お金を支払い商品を受け取るサービスのことを指す。 （Aloha Englishより） 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ドライブスルー型の「臨時発熱外来」や「PCR検査を実施する医療機関がある。 （行政のHPより）		北海道	○	左手「車」右手で「注文」車を前に進め右手で「荷物」を車に渡す	● 組み合わせ	９班の案を見ると、＜車＞＋＜注文＞と＜運転＞＋＜注文＞な班がある。＜注文＞だけだと「車を注文する」のように見える。＜ファーストフード＞のように、注文したものを受け取るような動作が必要なのでは？ということで意見がまとまった。 右手の動作は、状況に合わせて表現すれば良い。 **⇒左手＜自動車＞＋左手そのままで、右手＜注文＞に続けて掌を上に向けて自分に引き寄せる** **※北海道班の案を採用**
				東北		左手を立て（建物の壁のイメージ）に車（カー）をとめ ＋ 注文（テイク）		
				関東	◎	「運転」＋ 左手はそのまま、右手掌を上向きで斜め前から手前に引く（物を差し出される様子）＋「運転」		
				北信越		運転 ＋ 支援もらう		
				東海	○	右手で車、左手で終わりの後に右手を前方に突き出す		
				近畿	ア	ドライブ ＋ 受け付ける		
				中国	●	①ドライブ ＋ 注文　　②ドライブ ＋ 検査		
				四国	ア	/運転して行く/　＋　/注文/		
				九州	●	ドライブ（非利き手）＋ 注文		
34	**集荷**	お客さまのご自宅や勤務先などご指定の場所に、ヤマト運輸のセールスドライバーが、お荷物をお預かりにお伺いするサービス。 （ヤマト運輸HPより） 荷物をそれぞれの地域から一つのところに集めることで、国内のいろいろな地域から品物や物品などを一つのところに集めること。また、いろいろな野菜、魚介類などの産物がマーケットや市場に集まること、集めること。　（RUN一WAY Walkersより）		北海道	ア	「荷物」を持つて来て集荷場に集める様子	＜荷物Ｂ＞ ア アレンジ ＜集荷＞ ア アレンジ	９班の案を見ると、車に順に積み込んだり、集荷に伺うなどの表現が見られる。 標準手話に＜荷物＞があるが、カバンを持ち上げる動作（両手）。宅配などの場合に合わない。箱をイメージできる表現を検討。 ＜荷物Ｂ＞ **⇒左手掌の上方に掌下向きの右手拳を置きそのまま少し前に出す** **（右手は、箱の大きさや形に合わせてアレンジする）** ＜集荷＞は、荷物を集める、集荷所に持ってくる場合も含めた表現に。＜荷物Ｂ＞は使わず＜収集・集める＞の手形を使うことに。 **⇒左手掌の上方に指を曲げて下に向けた右手置き（＜収集・集める＞の右手）、左斜め前からと右斜め前から胸前に引き寄せる動作を２回行う** **※東海班・四国班の案を参考**
				東北		荷物 ＋ 集める		
				関東	●	①両手掌上で前後に並べ手前に引く（荷物）＋手前に「集める」 ②荷物＋両手で向こう側へ「集める」		
				北信越		荷物を集める ＋ トラック		
				東海	○	三方から集める		
				近畿	ア	車を走らせて物を2回積んでいく様子		
				中国	●	物 ＋ 集まる		
				四国	●	荷物を集めてくる様子		
				九州	◎	家（片手は最後までそのまま）＋ 行く（手前に）＋預かる		
35	**置き配**	受取側があらかじめ指定した場所に荷物を届けてもらうサービス。玄関前・物置の中・車庫・メーターボックス・置き配バッグや宅配BOXなど、同一の住所内であれば非対面で荷物を受け取ることができる。 新型コロナウイルス感染拡大により、利用者が増加した。（Webマガジンより）		北海道	●	指定 ＋ 荷物を置く	ア アレンジ	９班の案を見ると、玄関前、ロッカー、留守などさまざま。 標準手話の＜置く＞は、＜さて＞の表現なので、合わない。 「置き配」はコロナ禍で急増している配達方法。＜宅急便＞の、車に積んだ荷物を配達する表現を応用できないか？検討。 **⇒＜荷物Ｂ＞を左前方に出して<u>置くように下ろし</u>、続いて右前方に出して<u>置くように下ろす</u>** **※北海道班の案を参考**
				東北		ロッカーの扉を開け、荷物をいれて閉めるしぐさ		
				関東	◎	①左手を掌手前で体と平行に立て、５指を曲げ指先下の右手を体から離して置き左手の前に持ってくる。 ②５指を曲げ指先下の右手を場所をずらして数回前方に置く		
				北信越		顔の前に掌を立てる ＋ 荷物を置く（ドアの外に荷物が置かれる様子）		
				東海	○	留守 ＋ 届ける		
				近畿	●	決める ＋ 置く		
				中国	●	荷物 ＋ 置く ＋ 場所		
				四国	ア	/宅急便/の手話を参考にして 配達した荷物を＋/そのまま/または/荷物を置く/		
				九州	◎	家（片手は最後までそのまま）＋ 持っていく（手前に）		
36	**有効期限**	一定期間で効力を失う証明書や薬品類などが、その効力を維持している間。効力のある期間。 （例:「ワクチンの有効期限」「ポイントの有効期限」など） 参考 「期間」…ある定めた時点から他の定めた時点までの時間的な長さ。 「期限」…ある継続した時間の終わり」のことで、前もって決められた一定の時期	＜有効期間（わ7－169）＞はあるが、1動作目を＜有効B（2010－40）＞に変更している。	北海道	●	有効 ＋ 期間	● 組み合わせ	＜有効＞、＜期限＞それぞれ標準手話があるので、組み合わせることに。 **⇒＜有効＞＋＜期限・期日＞（期間＋まで）** **※四国班の案を参考**
				東北		有効 ＋ 期限		
				関東	●	「効果」＋「まで、終わり」		
				北信越		使う ＋ 期間		
				東海	○	効果 ＋ 期間		
				近畿	●	有効 ＋ 切る		
				中国	●	効果 ＋ 期間		
				四国	●	/効果/　＋　/期限/		
				九州	●	いつ ＋ 締め切り		

37	**天守閣**	城郭の本丸にある最大の櫓やぐら。戦時には展望台・司令塔または最後の根拠地となり、平時は領主の権勢の表現。		北海道	×	検討不可	ア アレンジ	９班の案を見ると、＜最高＞＋＜城＞、＜城＞の手形のまま弧を描いて上げたり、＜城＞＋その上方に小さい＜城＞など工夫されている。採決の結果、四国班の案を採用することに。 **⇒＜城＞＋続けてその上方に小さい＜城＞を表す** **※四国班の案を採用**
				東北		最高 ＋ 城		
				関東	◎	「城」を表し、指先を小刻みに動かしながら中央上方へ。頂上で小さな「城」をはっきり表す。		
				北信越		城 ＋ 最上階		
				東海	○	やや下に城、その上にもう一度城を表す		
				近畿	×	お城を上の方に小さく掲げる		
				中国	●	屋上 ＋ 城		
				四国	ア	/城/　の上に　もう少し小さく　/城/		
				九州	●	天気 ＋ 城		
38	**ごり押し**	強引に自分の要求などを押し通すこと。 （例:「ごり押しに予算案を通す」など） （goo国語辞書より）		北海道	ア	「助ける」を強く無理に押す	＜むりやり＞ 保 保存手話 ＜ごり押し＞ ● 組み合わせ	9班の案を見ると、押し通す、押し倒す、押すなどがある。 ・押し倒す ・むりやり＋押し倒す ・むりやり＋押し通す　で意見が分かれ採決した結果、 ２つ目の表現を採用することに。 「むりやり」は以前から使われているが、標準手話のラベルがないので確定することに。 ＜むりやり＞ **⇒右手人差指でくちびるの下でねじるように左に動かす** ＜ごり押し＞ **⇒＜むりやり＞＋左手親指を右手掌で押し倒す** **※関東班・北信越班の案を参考**
				東北		決める ＋ 真っ直ぐ		
				関東	◎	「説明」＋ 左親指を右手で押さえて倒す		
				北信越		無理 ＋ 親指を叩く（人を押し出す）		
				東海	△	強引		
				近畿	●	無理 ＋ 押す		
				中国	●	人 ＋ 押し		
				四国	●	/押し付ける/　＋　/強く言う/		
				九州	◎	人差し指（非利き手）を押す（強制）表情付きで		
39	**国葬**	国家に功労のあった人の死去に際し、国家の儀式として国費で行う葬儀。 （goo国語辞書より）		北海道	●	国 ＋ 拝む	● 組み合わせ	９班の案を見ると、ほとんどが似た表現。 ＜寺Ａ＞を使う班もあるが、標準手話＜葬式＞があるので、それを使うことに。 **⇒＜国・国家＞＋＜葬式＞（死亡＋祈る）** **※四国班の案を採用**
				東北		国 ＋ 寺		
				関東	●	「国」＋「責任」（両手で）＋「拝む・供養」		
				北信越		国 ＋ お参り		
				東海	○	国 ＋ 葬式		
				近畿	ア	国 ＋ 祈る		
				中国	●	国 ＋ 葬式		
				四国	●	/国/　＋　/葬式/		
				九州	●	税金 ＋ 葬式		
40	**カーテンコール**	“演劇やオペラ、ショーなどで、終わって幕が下りた後、観客が拍手喝采して出演者を幕の前に呼び出すこと”。 「カーテン」は“幕”、「コール」は“呼ぶ”という意味で、まさに“幕が下りた後に呼ぶ”ということになる。 参考:「アンコール」は、“再演”を求める意味合いで使う言葉	参考:＜アンコール（わ10－134）＞	北海道	◎	左掌右掌を下ろし（幕を閉じる） ＋ 両掌を前に進める（出演者が前に出る様子）	● 組み合わせ	９班の案を見ると、東海班の案が良いという意見と、幕を閉じた前方でお辞儀する動作とに意見が分かれた。 採決した結果、再び幕が開く動作を入れる案を採用することに。 **⇒＜緞帳＞＋＜緞帳＞を上げる＋＜式Ｂ・セレモニーＢ＞（おじぎ）** **※東海班の案を採用**
				東北		カーテンが上から閉まる様子 ＋ 手で拍手		
				関東	◎	左掌に右手を立てて小指側を下ろしてつける（閉幕）＋ 少し前方で開いた両手を左右から中央に寄せる（出演者）		
				北信越		両手を上げる ＋ 両手親指と頭で「お辞儀」 （手をつないで、並んでお辞儀する様子）		
				東海	○	幕を閉じ、開けて礼		
				近畿	◎	幕を閉じる ＋ 幕のまえへ		
				中国	●	人 ＋ 並んで ＋ 挨拶		
				四国	●	/幕が閉まる様子/　＋　/拍手/		
				九州	◎	閉めて開けて（非利き手）＋ 出てくる（指文字の「て」甲を向ける）		
41	**抵触**	① 触れること。衝突すること。転じて、物事が相互に矛盾すること。（例:「新説は従来の主張に抵触するものではない」など） ② ある行為が法律や規則に反すること。 （例:「道路交通法に抵触する」など） （goo国語辞書より）		北海道	△	「合わない」にラベル追加	保 保存手話	９班の案を見ると、触れる意味と、法や規則に反する意味がごっちゃになっている。今回は後者の場合を検討することに。四国班の＜合わない＞が意味に合うが、他に＜合う＞に続けて右手をパッと下に払うように広げる動作もよく見かける。 **⇒左手人差指に右手人差指を上からあて下へ５指をぱっと払うように広げる** **※班の案を採用なし**
				東北		気にかかる ＋ 指文字「き」を頭に２回触れる		
				関東	◎	①両手親指側を軽く触れながら右手を前に出す。左肩を右手で軽くこする ②左手指先に右手指先でそっと触れる		
				北信越		五本指の先を軽く合わせ話す（合わないの手話を５本指で）		
				東海	○	両手の指先を当てる		
				近畿	○	両手のひとさし指を合わせる（顔の表現）		
				中国	●	手と手　触る		
				四国	△	/合わない/		
				九州	●	違反		
42	**スキャン**	書類などの紙を、デジタルデータ（画像ファイル）にするために読み取ること。 スキャンしたデジタルデータは、JPEGやPDFなどの画像ファイルとして保存できる。 画像ファイルからプリントしたり、メールに添付して送ったりすることができます。 （EPSONユーザーズガイドより）		北海道	◎	下に向けた左掌に右手人差指を付け、前後に動かす	ア アレンジ	９班の案を見ると、似た表現だが、一方に動かすどうさと、往復させる動作に分かれる。 標準手話に＜スキャナ＞（未発表：左手掌の<u>少し下で</u>指先前向きの右手を左から右へ動かす）があるが、機械のこと。右手の位置で区別することに。 **⇒左掌を下に向け、左掌の下に<u>くっつけた</u>右人差指を左から右へ（手首側から指先へ）動かす** **※東北班の案を参考**
				東北		左手の掌を下に向け、右手人差し指でなぞりながら前へ		
				関東	◎	掌下向きの左手の下、右人差指を指先から手首へ動かす。		
				北信越	保	掌を下向きにし、人差し指を動かす（富山県で以前から使っている手話）		
				東海	○	左手の下に、右手の人差指をこすらせて前方に突き出す		
				近畿	◎	手のひらを下にむけ、もう一方の手の人差し指で動かす		
				中国	○	スキャンの形		
				四国	×	掌の下で　人差し指を添え触る様子　普段使用している手話		
				九州	◎	非利き手の下から指文字の「す」を飛ばす		
43	**未然**	まだそうなっていないこと。まだそのことが起こらないこと。 （例:「事故を未然に防ぐ」など） （goo国語辞書より）		北海道	△	「まだ」にラベル追加	＜起こるＢ＞ 保 保存手話 ＜未然＞ ● 組み合わせ	「未然」とは、事故などが起こる前のこと。 ９班の案を見ると、まだ、注意、防ぐ、前、まだなど、色々あるが、「事故を未然に防ぐ」の場合、「防ぐ」の手話があるとダブる。 ＜起こる＞の標準手話はあるが、右手は人差指なので、少し弱い。折り曲げた５指を上げる動作が合うのでは。 ＜起こるＢ＞ **⇒５指を折り曲げ指先を上に向けた右手を上げる** ＜未然＞ **⇒＜起こるＢ＞＋＜過去（前）・事前＞** **※班の案を採用なし**
				東北		前 ＋ 注意		
				関東	◎	５指を曲げて「起こる」を表し、素早く「防ぐ」		
				北信越		開いた左手に右手を近づける ＋ 前		
				東海	○	手前、さらに手前		
				近畿	●	前 ＋ まだ		
				中国	△	まだ		
				四国	保	人差し指と親指を合わせ顎へ当てる		
				九州	◎	起こる（非利き手）＋ 防ぐ（利き手）下の方へ		

44	**必然**	必ずそうなること。それよりほかになりようのないこと。また、そのさま。 （例:「なまけたのだから不合格は必然だ」など） 参考…「当然の結果」と「必然の結果」の違い 「それは当然の結果だった」は誰もが当たり前にそうなると思った結果であることを表す。 これが「それは必然の結果だった」となると、何かしらの因果関係や道理が招いた結果であったことを表す。 （例文買取センターより）		北海道	△	「決まり」にラベル追加	△ ラベルの追加	９班の案を見ると、決まり、当たり前、間違いない、必ずなど、いろいろある。 反対語「偶然」に対して、どの手話が合うか検討。 **⇒＜あたりまえ・当然＞と同じ** **※東北班・中国班・九州班の案を参考**
				東北		結果 ＋ 当たり前		
				関東	保	「間違い」（２指で）＋「改めて」		
				北信越		右手の指文字「ろ」を左掌に２回当てる		
				東海	△	必ず　に同じ		
				近畿	保	（和歌山の手話）人差し指を額の横を指し、「も」強く表現		
				中国	●	ある ＋ 当たり前		
				四国	保	/固い/		
				九州	●	決まる ＋ 当たり前		
45	**ドラフト（draft）**	① 人を選抜すること。（例:「ドラフト制」「ドラフト会議」など） ② 下書き。草稿。 ビジネス用語で、まだ完成はしていないけれど、おおまかに作ってみた資料や契約書などに使われる。 ③ 洋裁で、型紙の輪郭を描いた下図。 （goo国語辞書より）		北海道	ア	「どちら」の両手を指文字「と」に変更	ア アレンジ	「ドラフト」には下書きといった意味もあるが、今回は、プロ野球の「ドラフト会議」のような人を選抜する意味の表現を検討したい。 ９班の案を見ると、「ドラ」「ｄ」などを使う班があるが、意味に合う表現にしたい。 くじ引きの表現はどうかという意見も出たが、四国班の、大勢の中から選ぶイメージの表現が良い。 **⇒左手掌を自分に向け、５指を開いて左から右に移動する＋＜選ぶ・選抜Ｂ＞** **※四国班①の案を採用**
				東北		「抽選」のしぐさ ＋「初」		
				関東	保	①2指で遠くから手前へ複数回摘まんで持ってくる。左右交互に。		
				北信越		指文字「ど」＋「ら」＋くじ		
				東海	ア	「例えば」の右手を「ｄ」にする		
				近畿	ア	「採用する」の応用		
				中国	●	①人 ＋ 選出　　②案　③形を合わせて切る		
				四国	◎	①掌で円を描くように回し（人の意味）　/選ぶ/ ③/下/ ＋ /絵/ ②/草案/からのアレンジで ＋　/書く/		
				九州	●	①選ぶ　②例 ＋ 書く　③重ねる ＋ 切る		
46	**グラフィック（graphic）**	コンピュータの画面上で表示される画像のこと。インターネットが普及し、文字では表現しにくかった情報を、画像にすることで、容易に表現することが可能となった。 （weblio辞書より）		北海道	ア	「絵」の右手をアルファベット「Ｇ」に変更	○ 合成	９班の案を見ると、画面を意味する左手「Ｌ」を使う班が多い。四国班の案が良いとの意見でまとまった。 **⇒左手「Ｌ」と右手＜絵＞の合成** **（右手は位置を変えて２回）** **※四国班の案を採用**
				東北		アメリカ指文字「Ｇ」＋ はっきり		
				関東	●	左手「Ｌ」。右手５指広げて「Ｌ」内側から右へ動かす。		
				北信越		マウスを動かず仕草 ＋ 画面		
				東海	ア	「動画」をアレンジし、右手で「グ」を表す		
				近畿	◎	片手（近畿の左）に「ぐ」を横に２回出す		
				中国	●	画面 ＋ グ指文字		
				四国	○	片手/画面/　＋　もう一方の手で/絵/		
				九州	●	見る ＋ 情報		
47	**ストイック**	さまざまな欲求に左右されず、自分を厳しく律することをいう。どのようなことを律するのかは、人それぞれ。 たとえば、スポーツ選手であれば「毎日8時間練習をする」かも、仕事熱心な人であれば「今日の業務を明日まで持ち越さない」かもしれない。どのような内容であれ、自分で決めたことを厳しく守ることをストイックという。 英語訳は「stoic」で、日本語と同じように「ストア哲学の、禁欲の、冷静な」という意味です。次のように使う。 もともとは、古代ギリシャのストア学派またはストア学派の哲学者を意味する言葉でした。ストア学派とは、禁欲主義に基づいた幸福論を唱える学派。そのため、ストイックの言葉自体に「禁欲的な」という意味が含まれるようになった。（小学館 Domani（ドマーニ）公式ウェブサイトより）		北海道	◎	左手人差し指を胸につけ右手で厳しい	● 組み合わせ	９班の案を見ると、＜厳しい＞を使う班が多い。 「自分にきびしい課題を課して、それを貫く」イメージに合う表現を。 **⇒＜自分自身・シングルＡ・セルフ＞＋＜きつい（きびしい）＞** **※東北班・北信越班・東海班の案を採用**
				東北		自分 ＋ 厳しい		
				関東	●	「注意」＋ 左掌の上から立てた右手を前方へ（真っすぐ）		
				北信越		自ら ＋ 厳しい		
				東海	○	自分 ＋ 厳しい		
				近畿	○	右手「集中」、左手「耐える」同時に表現		
				中国	●	①無視してまっすぐ　　②決めて通す		
				四国	◎	両掌を重ねて　上にある掌をまっすぐ前に出す		
				九州	◎	逸れる（1回戻す）＋ 突き進む		
48	**バイオマス（発電）**	一定の空間にある生物資源（植物、動物、微生物）の総量を指す。 バイオマス（biomass）は、「バイオ（bio＝生物、生物資源）」と「マス（mass=量）」を組み合わせた言葉。一般的には、植物などの生物から生まれた再生できる資源のことを言う。 （真庭SDGS・バイオマスツアーHPより）		北海道	ア	「発電」の左手をアルファベット「Ｂ」に変更	● 組み合わせ	９班の案を見ると、片手で＜生物＞を表す班があるが、お金に関する言葉や、「物」の手話に見える。使うならきちんと両手で＜生物＞を表すのがよい。 **⇒＜生物＞＋残した左手の下で、右手＜資源＞** **※四国班の案を採用**
				東北		自然 ＋ 左手甲の上で右手指文字「シ」を上下する		
				関東	○	左手「生物」の下で、掌下で開いた右手を水平に回す		
				北信越		指文字Ｂ（バイオ）＋ 指文字Ｍ（マス）		
				東海	ア	「資源」をアレンジし、右手で「もの」を表す		
				近畿	●	生物 ＋ 量		
				中国	●	Ｂ指文字 ＋ 資源		
				四国	○	/生物/　＋　一方の手を肘にあて/資源/		
				九州	◎	Ｃ非利き手を動かさず）＋ Ｂ（利き手）をくるっと回す ＋ 発電		
49	**アクリル板**	アクリルという合成樹脂で作られた板です。プラスチックの、軽く・錆びない・腐らない、という特性に加えて、高い透明性や美しい表面の光沢、気候の変化にも強い耐久性の高さ、加工のしやすさなど、多くの優れた特徴を持っている。 コロナ禍での飛沫防止などのため、テレビ収録や会議などの場面でよく見られるようになった。		北海道	◎	右に向けた左腕に右手指文字の「あ」でアクリル板の大きさを動かして表現	＜アクリル＞ ア アレンジ ＜アクリル板＞ ● 組み合わせ	９班の案を見ると、１動作目は＜プラスチック＞のアレンジ、＜透明＞に分かれている。元素の決まった表現があるので、それを使うことに。 ２動作目は、実際の板の形を表す班が多いが、標準手話の＜板・プレート＞を使うことに。 ＜アクリル＞ **⇒＜プラスチック＞の右手を「ア」にかえて表現** **※東北班の案を採用** ＜アクリル板＞ **⇒＜アクリル＞＋＜板・プレート＞** **※四国班の案を採用**
				東北		立てた左手掌に指文字「ア」の形の親指をつけて上下する		
				関東	●	「透明」＋ ４指と親指を向い合せて立てた両手をアクリル板の上と横の縁をなぞるように動かす		
				北信越		A　立てた左手に右手の指文字「あ」を当て動かす（プラスチックのアレンジ） B　アクリル板の形		
				東海	○	指文字「あ」＋ プラスチック		
				近畿	ア	「プラスチック」をアレンジして「ア」を動かす		
				中国	●	透明 ＋ 板の形		
				四国	ア	/プラスチック/の右手を【ア】にして掌にあて上下させる		
				九州	ア	両手指文字の「あ」で板を作る		
50	**過酷**	厳しすぎるさま。ひどすぎるさま。 （例:「過酷な手段」「過酷な条件」など） （goo国語辞書より）		北海道	●	過ぎる ＋「とても」の親指と人差し指を曲げて「酷い」	● 組み合わせ	９班の案を見ると、 北信越班の、「厳しい」＋「苦しい」 東海班の、「厳しい」＋「とても」 四国班の、「厳しい」＋「過ぎる」　などがあるなか、２爪の表現が意味に合うのでは。 「厳しい」＋「とても」とするか、「とても」＋「厳しい」とするか採決した結果、前者を採用することに。 聞こえない人の手話は、まず「何」を表し、次に「程度」などを表すことが多い。 厳しいのが度を越しているのか？、とてもなのか？ということ。 **⇒＜きつい（きびしい）＞＋＜とても（大変）＞** **※東海班の案を採用**
				東北		オーバーを強めに繰り返す		
				関東	△	「厳しい」（表情をつけて強く表す）		
				北信越		厳しい ＋ 苦しい		
				東海	○	厳しい ＋ とても		
				近畿	△	オーバー（大きく顔を動かす）		
				中国	△	ひどい		
				四国	●	/厳しい/　＋　/過ぎる/		
				九州	●	苦しい（表情）		

51	**君臨**	① 主君として国家を統治すること。 ② ある分野で、強大な力を持って他を支配すること。 （例:「業界に君臨する大物」など） （goo国語辞書より）		北海道	◎	左手親指の下を右手で掴む	○ 合成	９班の案を見ると、「即位」（就任）の手話を使う班がみられるが、北海道班の案が意味に合うということで一致。 ＜席巻＞＜掌握＞などの応用で。 **⇒左手＜男＞の下に５指を広げた右手を吸い上げて握る** **※北海道班の案を採用**
				東北		左手親指を立てた下部で、右手掌を下に向けて円を描いてから握り、左手下部に付ける		
				関東	△	「即位」		
				北信越		威張る ＋ 親指を上に上げる		
				東海	○	左手の上に右手の立てた親指を置く		
				近畿	●	「指示」＋「王」		
				中国	●	①集まる ＋ 王		
				四国	ア	/上に立つ/ ＋ まわりを 抑えている様子		
				九州	◎	敬う（前に進む）		
52	**重責**	重大な責任。 （例:。「重責を果たす」など） （goo国語辞書より）		北海道	●	責任 ＋ 重い	ア アレンジ	９班の案を見ると、「責任」＋「重い」など「重い」を使う班があるが、東北班のように小手で＜責任＞を表し、そのまま少し肩を下ろして、責任の重さを表してはどうか。 **⇒両肩＜責任・役割・担当・管掌・所轄・所管＞を表現し、肩を少し下す** **※東北班の案を参考**
				東北		両手で強めに「責任」		
				関東	△	「責任」（肩を少し前に倒す）		
				北信越		責任の手話を重そうに表現		
				東海	○	とても ＋ 責任		
				近畿	○	肩に両手を重ねて載せる（責任を二重に）		
				中国	●	責任 ＋ 重い		
				四国	●	両手で/重い/ ＋ /責任/		
				九州	●	責任（表情）		
53	**礼節**	「礼儀」:人間関係や社会生活の秩序を維持するために人が守るべき行動様式。 「節度」:言行などが度を超さず、適度であること･ちょうどよい程度。 「礼節」…きちんとした礼儀作法や節度のある態度のこと。		北海道	●	マナー ＋ きちんと	● 組み合わせ	９班の案を見ると、「マナー」だけの班と、「礼」「きちんと」「姿勢を正す」動作などが見られる。 「マナー」だけでもいいという意見もあったが、北海道班の「きとんと」を入れる表現とすることに。 **⇒＜常識・マナー・モラル＞＋＜きちんと＞を左、右の順に表す** **※北海道班の案を参考**
				東北		マナー ＋ 持続（「同じ」を前へ）		
				関東	△	「マナー」（ゆっくり丁寧に）		
				北信越		マナー		
				東海	○	礼 ＋ マナー		
				近畿	△	「マナー」		
				中国	●	きちんと ＋ 礼儀		
				四国	保	/常識/ ＋ 両掌を体の前に起き下へ（きちんとするの意味）		
				九州	●	道徳		
54	**創業**	創業とは、主に営利を目的とした事業を始めることをいいます。たとえば、会社を退職し、個人事業主として商売を始める場合は「創業」になるわけです。会社として法人登記しているか、していないかは関係がありません。 一方、設立とは、事業の内容に関係なく、会社などの法人をつくることをいいます。法人をつくるには法務局への登記が必要になり、登記申請をした日が会社の設立日になるわけです。この日付は登記簿の「会社設立の年月日」の欄に記載されます。 （エン転職HPより）	＜建つ･興す･起こす･設立･建設（する）（わ4－213）＞ ＜復活･復興･生き返る･返り咲く･創立（わ7－154）＞	北海道	●	建てる ＋ 仕事	● 組み合わせ	９班の案を見ると、「仕事」＋「スタート」を使う班があるが、「建つ・興す・起こす」の表現でよい。 **⇒＜職業・仕事・働く・作業・稼働・勤務・職・事業＞＋＜建つ・興す・起こす・設立＞** **※北信越班・中国班の案を採用**
				東北		会社 ＋ 建てる		
				関東	●	「会社」＋「建つ」		
				北信越		仕事 ＋ 興す		
				東海	○	新しく立てる		
				近畿	●	「仕事」＋「出発（スタート）」		
				中国	●	仕事 ＋ 建てる		
				四国	●	/会社/ ＋ /建てる/		
				九州	●	○○ ＋ 建てる		
55	**リノベ･リノベーション**	中古住宅を現代のライフスタイルに合った住まいによみがえらせることです。 参考:「リフォーム」…原状回復のための修繕営繕不具合箇所への部分的な対処。		北海道	●	指文字「り」＋ 復活 ＋ 新しい	○ 合成	９班の案を見ると、指文字「リ」を使う班があが、「リフォーム」「リニューアル」など頭に「リ」がつく言葉がいくつかあるので紛らわしい。区別できる表現にしたい。 「リノベーション」とは、中古住宅を住みやすく変えるといった意味があるので、関東班の案、「家」と「変わるＢ」を合わせては？ということでひとまず意見がまとまった。 「パブリックコメント募集」で他の良い案が寄せられたら再検討することに。 **⇒左手＜家＞と右手＜動く（世の中が）・変わるＢ・トランスフォーメーション＞の合成** **※関東班の案を採用**
				東北		家（左手の表現を残したまま）＋ 右手二本指（人差し指と中指）でひねりながら右側へ移動		
				関東	○	左手「屋根」の下で、５指を曲げ指先上向きの右手を水平に回す		
				北信越		指文字り ＋ 新しい		
				東海	○	指文字「り」＋ 変わる		
				近畿	●	「きれい」＋「変える」		
				中国	●	生活 ＋ 合った ＋ リフォーム		
				四国	ア	指文字【リ】＋ /つくる/		
				九州	●	家 ＋ 希望 ＋ 変わる（なる）		
56	**固定資産税**	地方税の一種で、所有する固定資産に対して課せられる税金のこと。 土地や家屋など、ほぼ全ての不動産が固定資産に該当。そのほか、事業用として使われる機械や機器類のうち、減価償却されるものも固定資産です。 （クレジットカード基礎知識より）	*「学習辞典Ⅱ』－467には掲載されていますが、標準手話としてのラベルはありません。この表現を標準手話としてもかまわないかどうかご検討ください。	北海道	ア	固定 ＋ 資産（学習辞典ⅡP296） ＋ 税 資産を変更	● 組み合わせ	９班の案を見ると、「固定」の表現がいくつか分かれている。 標準手話の「固定資産税」は無いが、『学習辞典Ⅱ』に掲載されている表現があるので、それを標準手話とすることに。 **⇒＜必ず・定める＞＋＜資産＞＋＜税金Ｂ＞** **※北海道班・東海班・四国班の案を採用**
				東北		固定 ＋ 税		
				関東	●	「定める」＋「財産」＋「税」		
				北信越		固定 ＋ 財産 ＋ 税		
				東海	○	固定 ＋ 資産 ＋ 税		
				近畿	●	「固定」＋「資産」＋「税」		
				中国	●	固い ＋ 財産 ＋ 税金		
				四国	×	そのままでよいと思う。 四国では資産の手話は 掌の上方にお金を乗せる、または拳を置く表現が多い		
				九州	●	定期 ＋ 税		
57	**だだをこねる**	子供が親にわがままを言って困らせたり、自分の思い通りに行かないことで癇癪を起こしたりすること。 （例:「おもちゃが欲しくてだだをこねる」など） （weblio 辞書より）	*『学習辞典Ｉ』－21には掲載されていますが、標準手話としてのラベルはありません。この表現を標準手話としてもかまわないかどうかご検討ください。	北海道	ア	「我儘」の右手を「欲しい」に変更	△ ラベル追加	９班の案を見ると、『学習辞典Ｉ』の表現のままでよいという意見が多い。標準手話としてラベルを追加することに。 **⇒＜わがまま＞と同じ（両手拳は離して表すこともある）** **※東北班・関東班・東海班・近畿班・中国班①・四国班・九州班の案を採用**
				東北		わがまま		
				関東		掲載手話を標準手話にしてよい		
				北信越		学習辞典Ｉ－２１が良いと思います		
				東海	○	両手を離し、左右にふる		
				近畿	×	（この表現でOKです。）		
				中国	△	わがまま		
				四国	×	そのままでよいと思う		
				九州	ー	同じ		
58	**断念**	自分の希望などを、きっぱりとあきらめること。 （例:「進学を断念する」など） （goo国語辞書より）	*『学習辞典Ｉ』－527には掲載されていますが、標準手話としてのラベルはありません。この表現を標準手話としてもかまわないかどうかご検討ください。	北海道	△	「飽きる」にラベル追加 北海道では「諦める」の意味で使用します	△ ラベル追加	９班の案を見ると、「途中」「仕方がない」なども表す班があるが、『学習辞典Ｉ』の表現を、標準手話としてラベルを追加することに。 **⇒＜あきらめる＞と同じ（上下の動作）** **※中国班・四国班・九州班の案を採用**
				東北		中途半端		
				関東	保	「途中・諦める」		
				北信越		仕方ない ＋ あきらめる		
				東海	○	仕方ない ＋ 思いを捨てる		
				近畿	保	あきらめる		
				中国		図のとおりで良い		
				四国	×	そのままでよいと思う		
				九州	ー	同じ		

59	**見据える**	① じっと見つめる。（例:「相手を見据える」など） ② 本質・真相などを見定める。（例:「現実を見据える」など） （goo国語辞書より）	*『学習辞典Ⅰ』-260 には掲載されていますが、標準手話としてのラベルはありません。この表現を標準手話としてもかまわないかどうかご検討ください。	北海道	○	左手「見る」右手「永遠」	△ ラベル追加	９班の案の中に、「透明」（見透かすの意）があるが、「断念」と同様に、『学習辞典Ⅰ』の表現を、標準手話としてラベルを追加することに。 **⇒＜見る＞と同じ** **※北信越班・東海班・近畿班・中国班・四国班・九州班の案を採用**
				東北		見透かす		
				関東		掲載手話を標準手話にしてよい		
				北信越		手話辞典Ⅰ-260（右手の２本指をもっと前に出す距離を延ばす）		
				東海	○	見る		
				近畿	×	（この表現でOKです。）		
				中国		図のとおりで良い		
				四国	×	そのままでよいと思うが表情が大切		
				九州	ー	同じ		
60	**証明書**	ある物事が真実であることの証拠となる文書。 （例:「身分証明書」など） （goo国語辞書より）	*『学習辞典Ⅰ』-502＋「紙」または＜紙A（わ4－58）＞＜紙B＞などがありますが 標準手話・学習辞典とも「証明書」の単独ラベルはありません。	北海道	ア	右手で印鑑を握って捺す様子	● 組み合わせ	標準手話の＜証明（わ3－36）＞は＜証拠＞より小さい動作。標準手話の＜証明＞＋＜紙Ａ＞とすることに。 「書」の形や大きさは、状況に合わせて表せばよい。 **⇒＜証明（わ3－36）＞（小さく）＋＜紙Ａ＞（両手人差指で四角形を描く）** **※関東班の案を採用**
				東北		本当 ＋ 左手掌に５指を折り曲げた右手をのせる		
				関東		掲載手話を標準手話にしてよい		
				北信越		証拠 ＋ 物の形や大きさを表す		
				東海	○	証拠 ＋ 書		
				近畿	●	「証明」＋「カード」		
				中国		図のとおりで良い		
				四国	×	「書」についてはその物の形状に合わせて表現		
				九州	●	502「証明」＋ 証（形に合わせる）		
61	**～証（しょう）**	① 確かな根拠に基づいて事実を明らかにする。あかす。 （例:「証言」「証人」「検証」など） ② 事実を明らかにするもの。あかし。（例:「証左」「証跡」など） ③ 証明のための文書。（例:「証券」「学生証」「免許証」など） ④ 仏教で、悟り。「証果／内証（ないしょう）」	*『学習辞典Ⅰ』-502「証明」 「～証」としての単独ラベルはありません。	北海道	ア	三級の「証明」＋ 物の形	△ ラベル追加	「証言」「検証」などは、確かな根拠に基づいて事実を明らかにする意味があるので、標準手話＜証拠＞（大きい動作）にラベルを追加することでよい。 **⇒＜証拠＞と同じ（大きく）** **※近畿班の案を採用**
				東北		～ ＋ 左手掌に５指を折り曲げた右手をのせる		
				関東		掲載手話を標準手話にしてよい		
				北信越				
				東海	△	証拠		
				近畿	×	（この表現でOKです。）		
				中国		図のとおりで良い		
				四国	△	同上		
				九州	○	形に合わせる		